

## ツイン用分配管取付説明書

SDD-507J〔室内ユニット同容量ツイン 50:50〕…室外ユニットJ180形(小型氷蓄熱同時ツイン)

### 安全のために必ず守ること

- ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
  - ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- |    |  |
|----|--|
| 警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。 |
| 注意 | 誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。  |
- お読みになったあとは取扱説明書とともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、取扱説明書とともに、いつも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事をされる方に、又お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

### 警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。  
ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付け工事は、この据付け説明書に従って確実にこなしてください。  
又、製品本体側の据付け説明書、取扱説明書を必ず一読してください。  
据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

### 注意


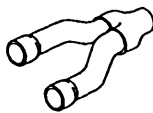
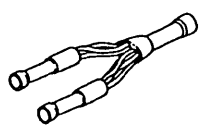
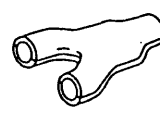

冷媒配管工事がある場合は、結露しないように確実に断熱を行なってください。  
不完全な断熱施行を行なうと配管等表面が結露して露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管工事がある場合は、据付け説明書に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないように保温してください。  
配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

電源配線工事がある場合は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。  
漏電や発熱・火災の原因になります。

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かないでください。  
頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する恐れがあります。

① 箱の中には次のものが入っています。作業を始める前にご確認ください。

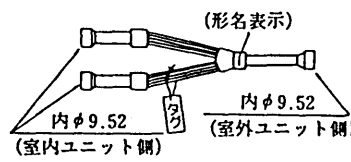
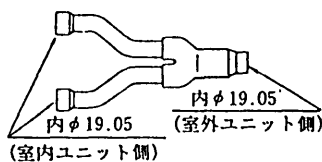
①説明書	②ガス管	③液管	④パイプカバー	⑤パイプカバー
 本紙 1枚	 1個	 1個	 ガス管用 1個	 液管用 1個

●ガス管②、液管③の仕様は下図のとおりです。

●SDD-507J

② ガス管

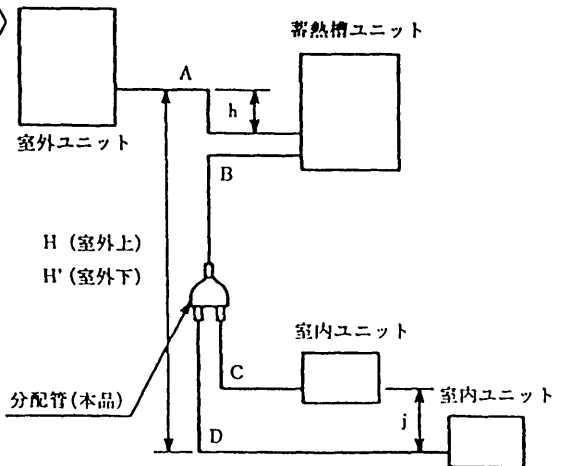
③ 液管



(本品以外に次のものを現地にて手配してください。)

- ①断熱材シール用テープ
- ②冷媒配管用延長パイプ

〔図1〕



② 配管サイズ・冷媒配管の制限

〔表1〕

室外ユニット	蓄熱ユニット	配管サイズ(mm)			
		ガス側		液側	
		蓄熱ユニット側	室内ユニット側	蓄熱ユニット側	室内ユニット側
PUZ-J180IGA	ST-35A	φ19.05 <3/4>	J112形 φ19.05 <3/4>	φ9.52 <3/8>	J112形 φ9.52 <3/8>

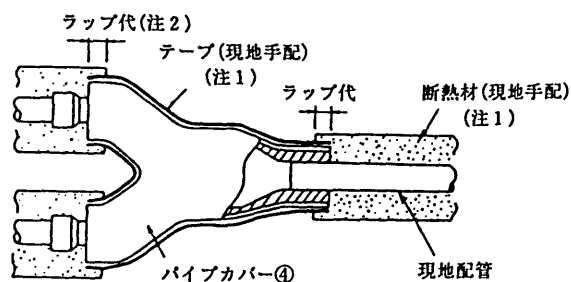
配管長(m)			高低差(m)				バンド数
配管総長	室外～蓄熱	室内～室内	室外～室内		室内～室内	室外～蓄熱 (上下問わず)	
			室外上	室外下			
A+B+C+D= 40m以下	A= 10m以下	C-D = 8m以下	H= 30m以下	H'= 20m以下	j= 1m以下	h= 5m以下	12以下

本説明以外の内容は、製品本体に付属の据付け説明書により据付けしてください。

### ③ 配管接続

1. 下記のことにご注意して作業を行ってください。
  - 冷媒配管長制限とそのベンド数制限(表1)を必ず守ってください。
  - 冷媒配管(現地手配)は分配管(本品)の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付けにて接続してください。
  - 分配管(本品)の取付時における方向についての制約はありません。
  - 配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。
  - 液管③のタグは確認後取りはずしてください。
2. 配管接続
  - 分配管(液管)を曲げたり、広げたりしないでください。

### ④ 断熱工事



- ガス管②をパイプカバー④に合わせるように取付けてください。パイプカバー④の合わせ部は断熱材シールテープ(現地手配)にてシールしてください。
- 液管③も同様に処理してください。

注1. 冷媒配管(現地手配)には全て断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、断熱性断熱材(厚さ12mm以上)を使用してください。

注2. パイプカバー④、⑤は高温にて若干収縮しますので、断熱材はラップ代を設けて施工してください。